



ごあいさつ

話題はどうしても新潟中越地震になってしまいます。大地と地球エネルギーの凄まじさをあらためて感じてしまいます。山古志村に見られるように、住宅の他に周辺の自然環境があれほど徹底的に破壊されてしまっただけではどうにもなりません。「被災建築物応急危険度判定士講習」を地震の4日前に受講したばかりだったので、そのタイミングにハッとしました。とにかく早い復興をお祈りするばかりです。避難した方々は、避難所で過ごすより少しでも自宅の近くでと思い、車中にて寝泊りする人が多かったそうです。やはり自宅は心の拠り所である証だと思いました。

さて、冬にむけ弊社事務所では薪ストーブを設置しました。火を起こしたり薪をくべたり、煙突を掃除したりと手間がかかるのですが、とにかく、あたたかさは格別です。

まだ住宅に暖房がなくて火鉢やコタツで冬を過ごしていた頃、家族は一ヶ所に集って暖をとりました。そこではいやが上にも家族の団欒があったことでしょうか。家族の些細な変化にも気づくことができたのではないのでしょうか。生活は便利になり、住宅は快適になりました。子ども達に個室が与えられプライバシーが尊重されるようになりました。その利便性と快適性の影で失ったものがあつたように思います。社会を揺るがすような事件が発生して、どこか歯車の狂った親子の関係を見せられると、その一因が住まいにもあることを痛感させられるのです。昔の住まいがよかつたというつもりはありませんが、家族が集る場所があるというのは大切なことだと思います。しあわせな家庭づくりがよりよい人生を過ごすための基本ではないかと生意気にも私は考えています。

本紙では、弊社で建築している家の情報よりもむしろ、住まいの季節にあつた情報やメンテナンス方法をお伝えしたいと考えています。ところが、このわずかな紙面ではとても伝えきれないと感じています。もし、お電話やメールなどいただければ、精一杯お答えさせていただきますので、どうかお気軽にご連絡いただければ幸いです。

いよいよ、冬の足音が聞こえてきました。この冬はインフルエンザが猛威を振るいそうです。健康に気を付けてお元気にお過ごしください。(秋葉)

ただいま工事中！

天井はやっぱり無垢の木目が美しい



小林邸の天井は杉板張りの勾配天井です。



川島邸は杉材を使用した伝統的な天井です。骨組みだけではわかりにくいですが・・・

存在感抜群！建築材のテーブルはいかが？



井上邸にある大工さんがつくった一枚板のテーブル。ナント！年輪が75確認できました。

山崎邸・米松の梁材で作ったDテーブル。板の厚さはナント！12cm。存在感も重さもBIGです。



冬は避けて通れない問題

住まいの大敵・結露を防ぐには・・・

火鉢やコタツで暖をとっていた時代は部屋全体を暖めることもなく、すきま風も吹いていました。家の中に温度差はありませんでしたから結露はしませんでした。

ところがアルミサッシを使い部屋を暖房するようになると、状況は変わりました。暖房している室温20度では空気1立方メートルあたり17.3gの水蒸気を含むことができますが、二階の暖房してない気温10度の部屋に移動すれば1立方メートルあたり9.4gしか水蒸気を保てないため、水蒸気は結露して水になってしまいます。

また、暖房するため石油ストーブなどで化石燃料を燃やすと1リットルの石油に対して1.13リットルの水が発生します。これは結露の大きな要因となります。現在、高断熱高気密住宅では全室空調によって結露を解決しているのはご存知の通りです。外気との温度差によって生じる壁体内結露は見えないところだけに一番厄介です。

室内での結露を防ぐポイントは、空気を冷やさない、水蒸気を発生させないということになります。

1室内で洗濯物を干さない、加湿しない

2密閉型の暖房器具を使う

3窓や換気扇で換気をよくする

4壁・床に接して家具など置かない

5室内の温度を適温に保つ、ことが大切です

人の呼吸も水蒸気の大きな発生源となります。外気との温度差に対しては暖房を控えめ設定したほうが良いと思います。

結露が気になる場合は、ペアガラスの使用、室内に吸湿する素材を使用することで効果があります。

結露すると、ダニやカビの発生が心配になります。また、見えないところでシロアリや腐朽菌に活動の場を与えることにもなりかねません。ご心配でしたら、ご相談ください。

建築おすすめ書籍

もうすでに、10回も増刷している神崎隆洋さん「いい家は無垢の木と漆喰でつくる」（ダイヤモンド社）はわかりやすく丁寧に、木や漆喰のよさ、いい家とは何か、にせものを見分け方を通して後悔しない家づくりのための知恵を語っています。読んで見たい方は下記あて秋葉までどうぞ。

発行者 ご連絡先 秋葉建設(株) 秋葉 忠夫

〒289-2163八日市場市南神崎52-1

電話0479-72-0814 FAX0479-72-0824

Eメール master@woody-akiba.com

HP URL <http://woody-akiba.com/>

(財)住宅産業研修財団・優良工務店の会QBC会員。財団では職人の技能を伝えるため、「大工塾」を創設しました。

次号も読んであげてもいいよ!と思った方、ご住所・お名前・Eメールアドレスを教えてください。ご連絡をお待ちしていますよー。